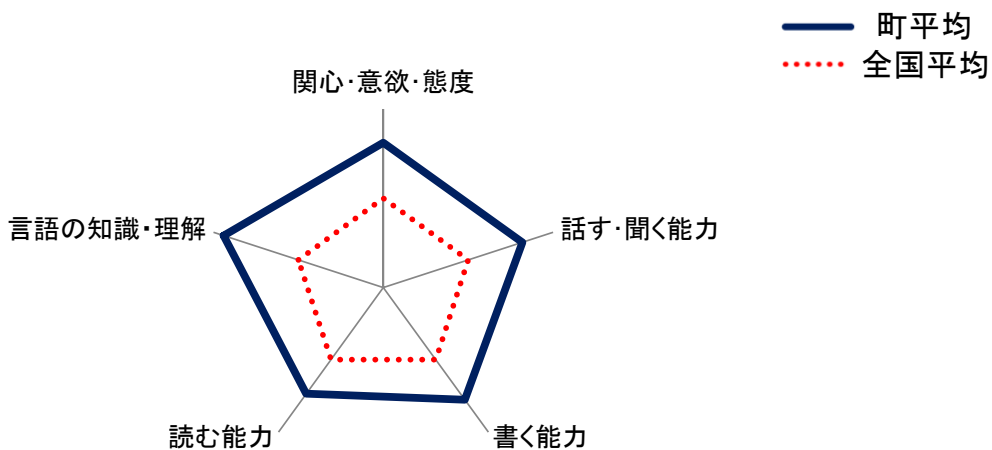


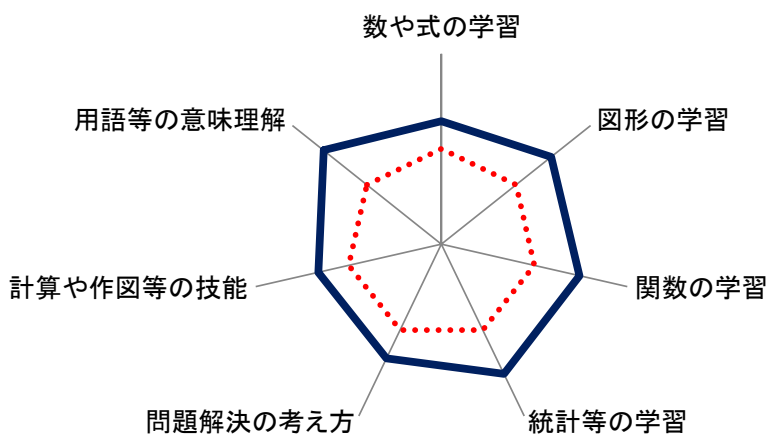
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

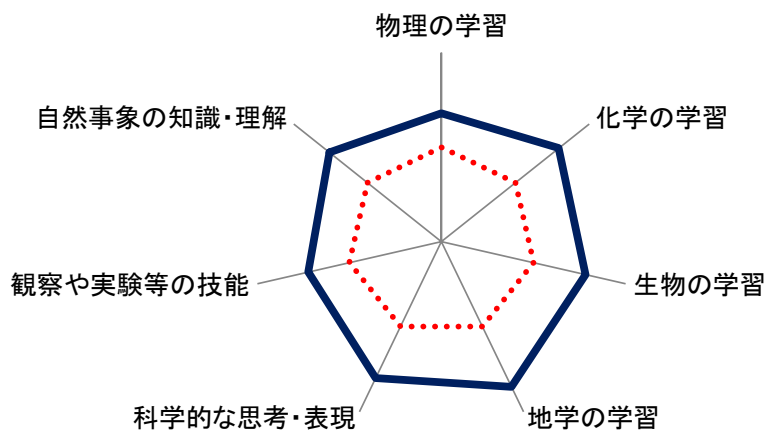
【国語】



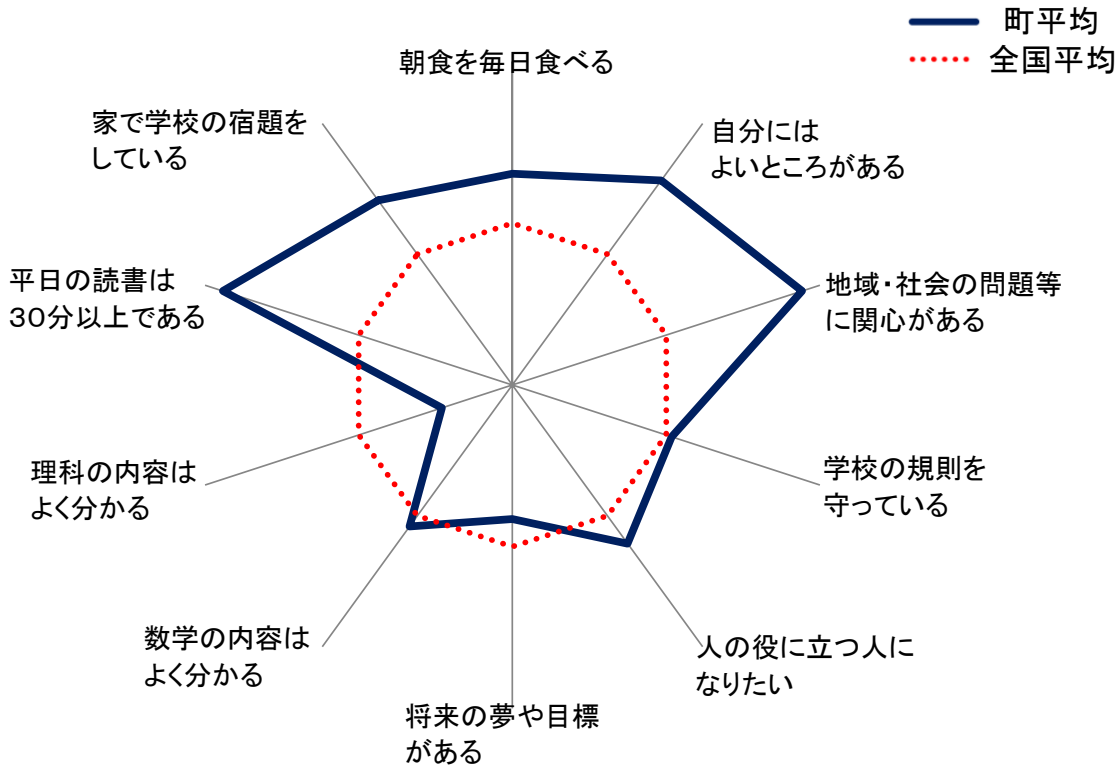
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学、理科の全ての項目で全国平均大きく上回っており、結果はきわめて良好である。特に各教科とも「知識・理解」の各項目が良好であり、基礎基本が確実に定着している上に、バランスの取れた学力が育成されている。特に、国語は「話す・聞く能力」が昨年度に比べて大幅に改善されており、言語活動の充実がうかがえる。今後、更なる学力の向上と定着に向けて、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導を継続することが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている多くの項目で肯定的な回答が、全国平均を大きく上回っている。特に「地域・社会の問題等に関心がある」や「平日の読書は30分以上である」の各項目は良好である。また、昨年度課題であった「自分にはよいところがある」の項目が大きく改善している。しかし、「理科の内容はよく分かる」の項目の肯定的な回答が全国平均を大きく下回っていることと、教科に関する調査における理科の結果との関連を詳細に分析することにより、生徒にとっての「楽しい授業、分かる授業」がどのクラスでも、どの時間でも行われるよう学校全体での授業改善が望まれる。